



中小企業主と 働く皆さんのための 日光市融資制度

中小企業者のための融資制度

本市の中小企業の経営資金や、設備、施設整備資金などの調達に役立てるため、市では市内の五つの金融機関に融資の資金を預託し、これに金融機関の協調資金を加え、低利の融資を行う制度です。

●**経営資金・設備資金・施設整備資金**

- 融資の対象 常時使用する従業員の数が二十人以下の法人、個人
- 融資条件 ①市内に事業所があること ②同一事業所を引き続き一年以上経営していること ③市税を完納していること
- 融資資金の用途と限度額
 - 経営資金 原材料・商品仕入等の運転資金 三百万円
 - 設備資金 事業用機械、器具等

設備に必要な資金 四百万円

- 施設整備資金 事業所の施設の新設、改善および公害防止施設に必要な資金 四百万円
- 貸付利率 年利五・六%
- 提出書類
 - ▽設備資金、施設整備資金には見積書、カタログまたは設計書
 - ▽飲食、旅館、建設、美容、理容、クリーニング業は営業許可の写し
 - ▽新規申込の場合には申込人と連帯保証人の資産評価証明書
- 取扱い金融機関 〇足利銀行日

勤労者のための融資制度

この制度は、勤労者が日光市内に住宅の新築・増築や土地の取得

光支店・中禅寺支店 〇栃木相互銀行日光支店 〇宇都宮信用金庫日光支店 〇大日光信用組合

●**共同施設整備資金**

- 融資条件 ①市内に事業所を有し、同一事業を引き続き一年以上営み、市税を完納していること
- ②中小企業団体の組織に関する法律、商店街振興組合法、中小企業等協同組合法に基づく法人であること
- 融資限度額 一千万円
- 貸付利率 年利六・三四%

※申し込みは、商工会議所日光事務所(53-221)か市観光商工課(54-111-内線一六二)へ。

中宮祠分署に新型救急車 日本自動車工業会が寄贈

中宮祠分署に新型救急車が配備されました。この救急車は、二月二十七日、社団法人日本自動車工業会から寄贈されたもので、トヨタ二二cc、九十六馬力。

救急車の特徴は、車内が広く救急処置が容易にでき、重傷患者二人を一度に搬送できるよう設計されています。そのほか、スクープストレッチャー(両脇からはさむようにして患者を乗せることがで

きる担架、マジックギブス(骨折患者の痛みを和らげたり二次的損傷を防止する役目をする)、エアソー(火花を発生せず金属を切断する)、夜間作業灯などを備えています。

中宮祠分署のこれまでの救急車は、昭和四十五年から使用しているもので、整備も古く、この新型救急車の寄贈に関係者は「中宮祠湯元地区の救急医療業務が強化された」と喜んでいきます。

保険料が
月額
5,220円に
国民年金

○土地の取得にあつては、当該土地登記簿謄本および売買契約書または共渡し承諾書

●**申込先** 〇市役所観光商工課

○勤めている事業所が、労働金庫に団体加入しているところ(組合員)は、直接労働金庫へ。

をするための資金を低金利で、しかも容易に調達できるよう、市の財政資金を労働金庫に預託し、同金庫の協調を得て融資する制度です。

●**融資の対象** ①市内に住んでいる方、または市内の同一事業所に一年以上勤務している方 ②年収の十二分の一の額が、毎月の返済金の五倍以上の方(申込人の属する世帯員の収入も可算できます)

③市税の滞納のない方

●**融資限度額** 三百万円

●**貸付期間** 十五年以内

●**貸付利率** 年利六・四八%

●**添付書類** 所定の申込用紙のほかに、○建築見積書および設計図、○源泉徴収票または給与支払証明書、○印鑑証明書(本人・保証人)

国民年金の保険料が、今月から月額五千二百二十円になりました。これは、昨年七月に老齢年金をはじめ、障害年金、母子年金などの年金額が引き上げられたことに伴い、保険料の引き上げが必要になったためです。

国民年金の年金支払いに必要な財源は、皆さんの納めた保険料収入と年金給付のバランスのとれたものでなければなりません。このため、年金給付額の三分の一が国庫補助となつていますが、それでも改正後の年金をまかなうためには、一か月八千円程度の保険料が必要で、皆さんの急激な負担増を避けるため、この保険料は毎年段階的に引き上げることにしていきます。

保険料納付は、高齢化社会に向うあなた自身の年金を確保する第一歩です。保険料納付にご協力ください。(市民課年金係)